

地域行政情報比較地図

地域の行政情報から地域の課題を見つけ、分析・検討するためのマップアプリ

様々なデータを町丁ごとに公開してみませんか？

各種社会保障給付の給付額や給付率、受給者数などが町丁ごとに公開されていれば、視覚的に地域の情報を比較するアプリ作成が可能になると考えます。

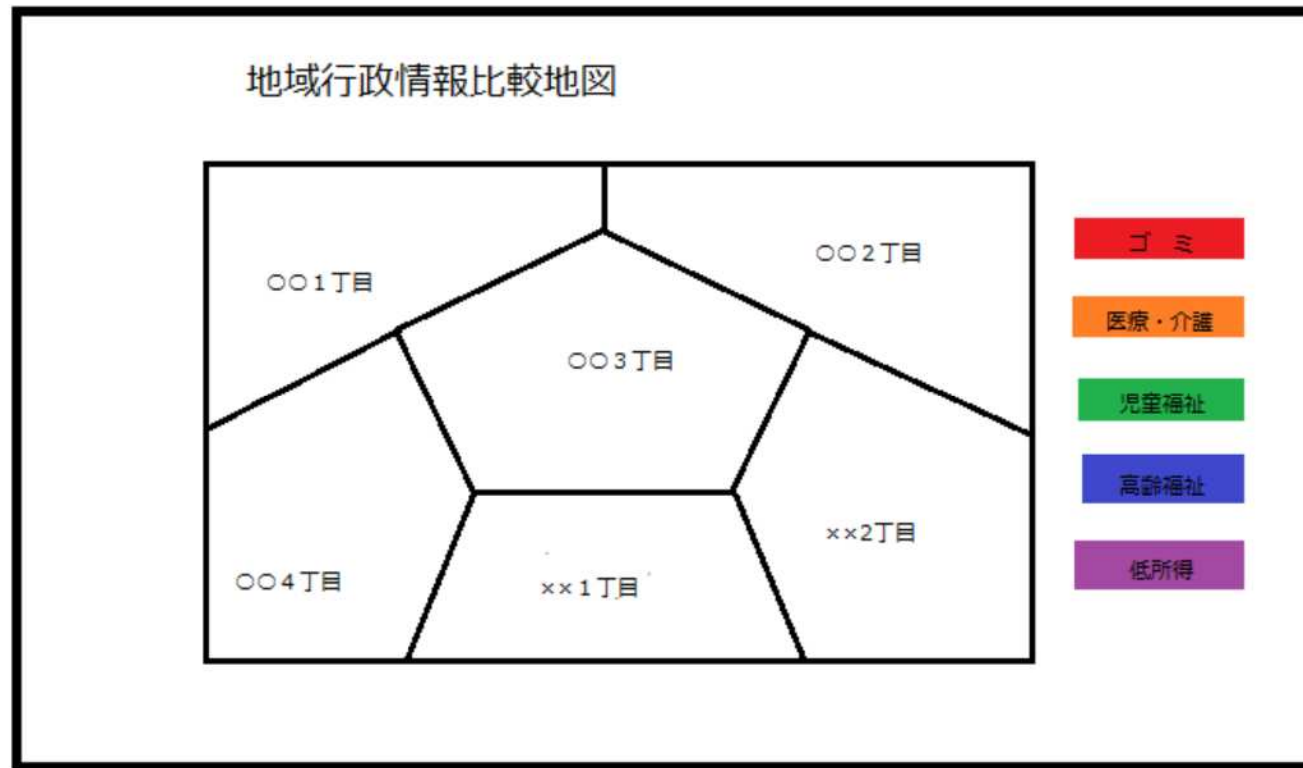
職員の皆様が各種施策立案の参考にするもよし。自治会や、民生委員、市民の皆様と地域を考えるために使ってもよし。どこの自治体でも使える汎用性のあるアプリになるでしょう。

アプリの内容

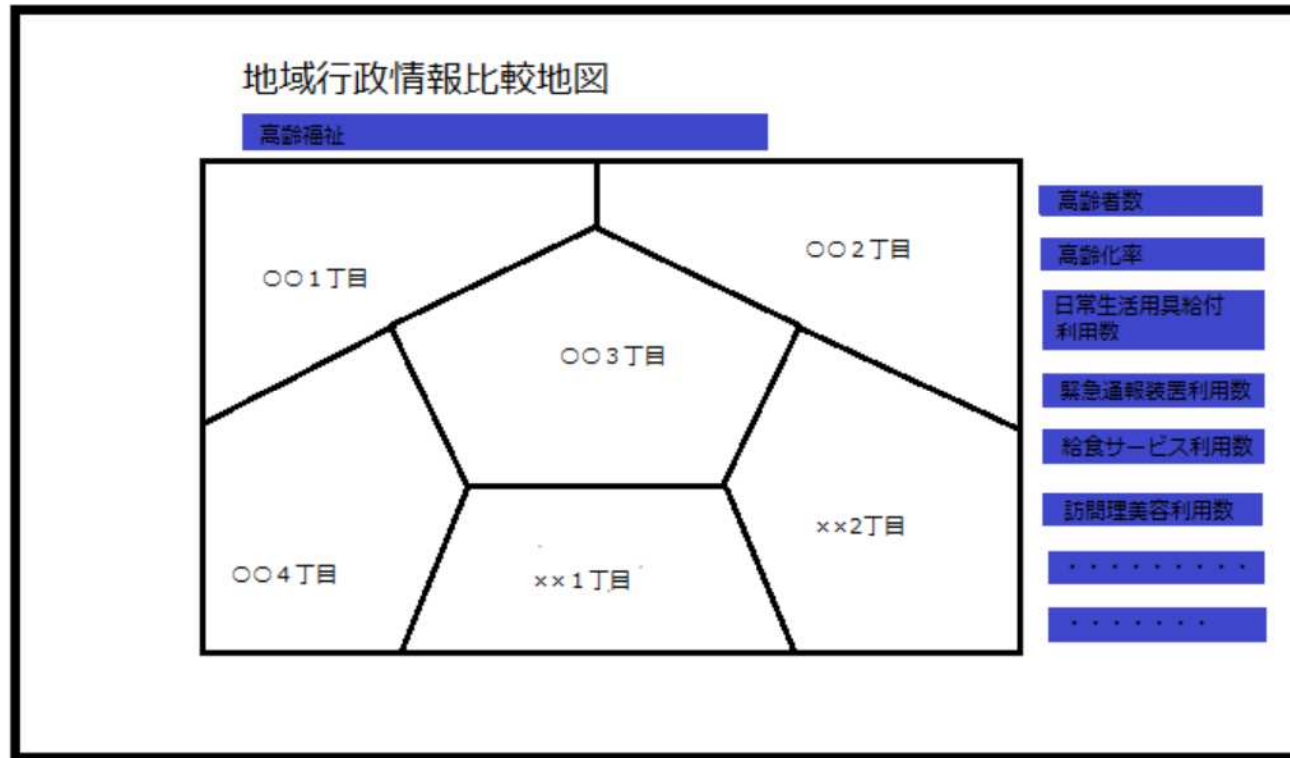
市の地図データ上にその町丁ごとの社会保障給付の受給者数や高齢化率、低所得者世帯数、ゴミの量などといった市の持つ各種情報を表示させる。

各数値は、地図外に設置したガイドボタンのクリックにより切り替えが可能とし、数値の大小を表示色の濃淡により視覚的にわかりやすく表示する。

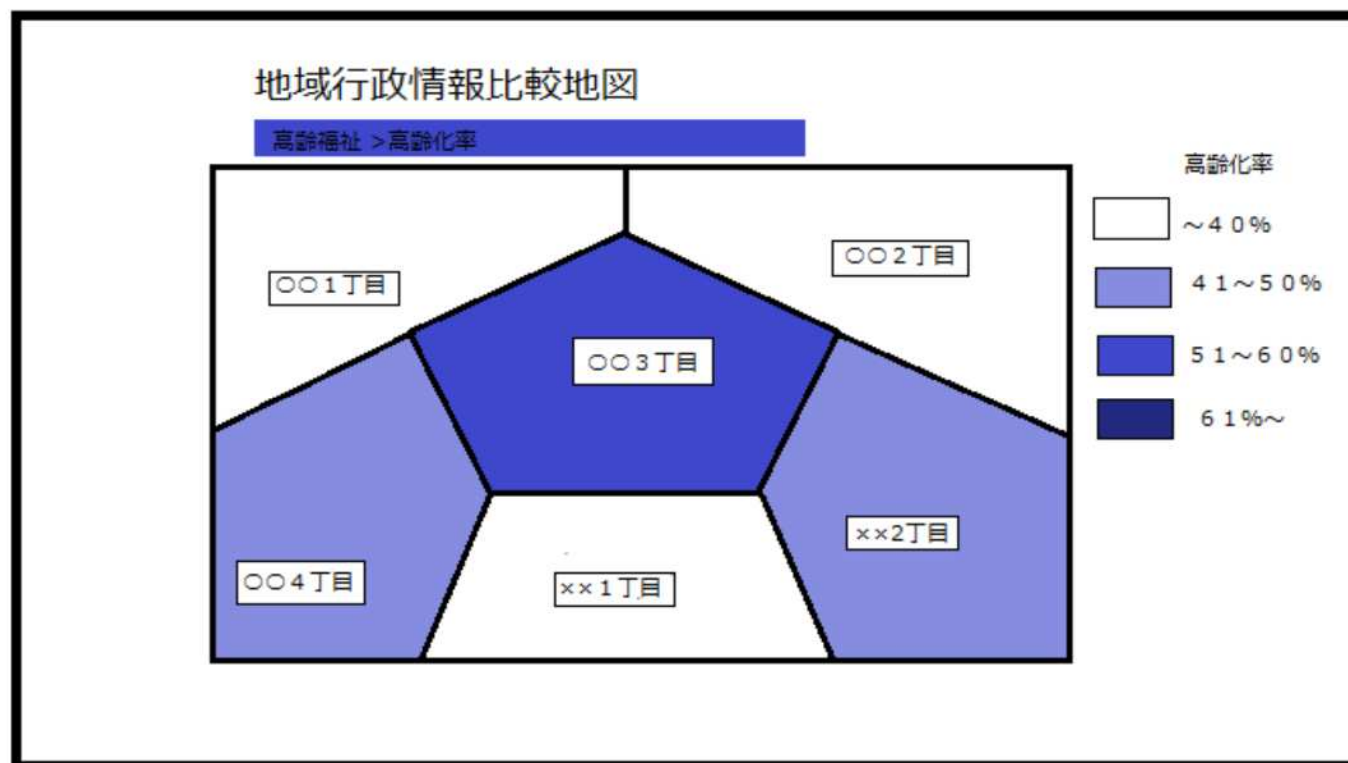
スタートメニュー（イメージ図）



高齢福祉メニュー（イメージ図）



高齢化率表示（イメージ図）



行政地図サービス、というだけなら既に多くのものがありますが...

【参考事例】

千葉市若葉区まちづくり支援システム

地図で見る「地域別将来人口等推移マップ」

<http://wakaba-chiba.mypl.net/wakabaku/?cmd=polygon>

若葉区にある東京情報大学との共同開発&地域ポータルでの公開

土地・建設・道路部門などのGISシステムを使ったアプローチ

横浜市行政地図情報提供システム

<http://wwwm.city.yokohama.lg.jp/>

でも、これって開発や運用にお金かかっています...